

※この報告書の〈受講者の声〉までが、なごや環境大学のウェブサイト上に掲載されます。

様式 2
(2024年度)

事業実績報告書

講座番号	B-43	講座名	レイチェル・カーソンの思いをつなぐ～没後60年～
記載日	2024/12/29	団体名・企業名	レイチェル・カーソン日本協会東海フォーラム
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>レイチェル・カーソンの思いをつないでこれまでも環境の学びを続けてきたが、没後60年の今、改めて公害、環境問題を学び、、、、次世代につないでいくこととした。</p> <p>カーソンは「人間だけの世界ではない」ことや、「センスオブワンダー」という自然に対する感性を大切にしてきた人である。その大切さは今も変わらない。学び続けることでカーソン思いを次世代に伝えていく。</p>			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>様々な広報媒体に掲載していただいているが、まだまだ周知不足のためか受講者が少ないと思います。ただ、10月の講座には大学生と卒業したばかりの若い人が参加してくれて、熱心に受講し、また参加したいと言ってくれました。水俣病について知らなかったことを知ることだできてよかったという感想も寄せてくれたのでこのような学びの機会を持つことが大切であると痛感しました。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)			
<ul style="list-style-type: none">・実体験をベースに水俣運動の歴史、問題点など分かりやすかった。現在の問題への対処法のヒントを多く頂いた。・今まで知らなかったことが知れてよかった。本音の話が聞いて良かったです。・日本古典文学について「センスオブワンダー」の視点から見るとことの面白さを感じさせていただきました。・感性をどうみがくかおしえていただいて良かったです。・先生の大学の講義に吸い込まれてしまいました。環境大学ということを忘れてしていました。			